



学校運営協議会通信

きらくスクAKIUだより

令和7年度 第2号 令和8年2月24日発行

宮城県立秋保かがやき支援学校 校長 門脇 敏昭

TEL022-354-8102 FAX022-354-8305

HP <https://akiu-kagayaki.myswan.ed.jp>

特別支援学校の「地域」について

コミュニティ・スクールでは、「学校と地域の連携」が大切であるとはいうものの、「特別支援学校のコミュニティ・スクールで捉える「地域」」とは・・・今回は、この話題についてお知らせします。



「地域」として最初に思い浮かぶ場所は、普段生活している、自宅周辺ではないでしょうか。



特別支援学校は学区が広いので、いろいろな場所からスクールバス等で通学します。



大人である私たちは、住んでいる場所だけでなく、勤務している場所においても、それぞれに目的や目標、課題をもち、それに応じて仕事をしています。つまり「働く場所」も、一つのテーマのもとで目標の達成や課題の解決を目指し、よりよい生活を送るために人が集う一つの「地域」と捉えることができます。このように考えると、子供たちにとって本校がある秋保地区は、学校教育方針というテーマのもとで学びを深める「地域」であると言えます。

学校運営協議会
の話し合いから

秋保の産業や、自然、
歴史等、特色のある教育
は何だろう。

どんな学校なのか地域の人
に知ってもらおうのも大切。



子供たちが大人になって、
「この学校でよかった」と
いう学校にしたい。

学校教育を通して地
域の課題に迫れるよ
うになるといいね。

まとめ

- 住んでいるところも「地域」だが、学校のある秋保地区も、テーマに沿って学ぶ「地域」。
- 秋保地区の人にどんな学校か知ってもらおう機会を作る。
- 秋保地区の豊かな地域資源を学校教育に生かし、この学校ならではの教育を受けられるようにする。